

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 小坂井商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価												備考	
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D 評価				今後の展開・改善点等		
				指標	実績数値	目標数値	指標	実績数値	目標数値		自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①		目標②
巡回・窓口相談指導事業	小規模事業者を中心に経営指導員等商工会職員が事業所を訪問、また窓口において金融相談・税務相談・労働相談等経営全般について様々な相談に対応することにより、経営及び技術の改善を図り、健全な企業の育成をするとともに経営全般に係る相談窓口の設置により経営改善に資する指導をする。	1. 巡回窓口指導延件数 468件 2. 巡回窓口指導実企業数 200件 3. 課題解決提案件数 21件 4. 経営革新承認件数 0件	小規模事業者	指標 巡回窓口指導延件数 (達成度 76.7 %)	指標 課題解決提案件数 (達成度 105.0 %)	得られた効果 事業者の必要時に専門家を派遣を行い、内容の濃い経営支援ができた。また事業者においても知識の習得が図られた。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価 B	調査結果 B	満足度 B	補足 必要性	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	課題解決提案件数はなんと何件数もクリアできた。一方で、巡回指導を想定よりも行っていた。指導延件数や課題解決提案などの件数目標は引き続き維持してゆきたい。		
記帳継続指導	商工会契約税理士又は商工会職員が個人事業主を対象に正しい記帳方法の指導と決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自主記帳や計数管理による経営力の向上に結びつける。	1. 指導対象事業所数 53件 2. 指導延回数 752回 3. 指導日数 453日	小規模事業者	指標 指導対象事業所数 (達成度 106.0 %)	指標 (達成度 %)	記帳方法の指導、決算・確定申告の指導により適正な税務申告と計数管理による経営力向上につながった。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価 B	調査結果 B	満足度 B	補足 必要性	目標① 下げる	目標②	引き続き、事業所のためになる指導をしてゆきたい。		
講習会事業	多様化する経営資源に対応するため、小規模事業者にとって必要な金融、税務、経理、労働、情報化等の知識習得や時事的な問題について啓蒙を図り、必要な講習会の提供と参加者の資質向上を目的とする。	1. 集団講習会実施回数 6回 参加者数 43人 2. 個別講習会実施回数 12回 参加者数 42人	小規模事業者	指標 実施回数 (達成度 94.7 %)	指標 講習会参加者数 (達成度 81.7 %)	伴走型小規模支援事業に沿ったセミナーを実施。また本年度はインボイス制度導入準備説明会を行った。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価 B	調査結果 B	満足度 B	補足 必要性	目標① 下げる	目標② 下げる	伴走型小規模支援事業に沿ったセミナーは引き続き実施。本年度はDXセミナーやSNSセミナーを開催予定。		
地域振興事業（地域振興まつり事業）	地域イベント「ござかいまつり」を10月に開催することにより、その集客力を活かして地域の経済活動を促進し、地域産業のPRの場を提供するとともに地域の総合的な振興を図ることを目的とする。	地域振興まつり事業 1. 出店事業所数 45事業所 2. まつり実行委員会 4回	小規模事業者	指標 出店事業所数 (達成度 225.0 %)	指標 (達成度 %)	今年度は3年ぶりのござかいまつりの開催となりキッチンカーの出店企画を行い、出店事業所がらふた。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価 B	調査結果 B	満足度 B	補足 必要性	目標① 現行どおり	目標②	地域産業のPRをするため、目標を維持してゆきたい。		
労働保険事業	事業主等の委託を受けて事業主に代わって労働保険料の申告納付に関する各種届出等の事業手続きを行うことにより小規模事業者等の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図ることを目的とする。	1. 委託事業所数 59件 2. 対象従業員数 39人	小規模事業者	指標 委託事業所数 (達成度 100.0 %)	指標 (達成度 %)	労働保険の適正な事務処理ができた。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価 B	調査結果 B	満足度 B	補足 必要性	目標① 現行どおり	目標②	間違いない事務処理と迅速な対応を続けていく。		
税務関係団体事業（青色申告会）	税務支援団体「青色申告会」が行う地域貢献活動等をサポートし、事業運営に協力することにより、地域社会への貢献や発展の一助となり、商工業の活性化に資することを目的とする。	小坂井青色申告会 1. 加入事業所数 94件	小規模事業者	指標 加入事業所数 (達成度 98.9 %)	指標 (達成度 %)	青色申告会会員の協力により事業が的確に行われた。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価 B	調査結果 B	満足度 B	補足 必要性	目標① 廃止	目標②	長年の会員減少により、本年度末をもって解散予定。よって評価から外すこととした。		
青年部・女性部事業	青年部・女性部それぞれの事業を通じ、地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与することを目的とする。	1. 青年部活動事業参加者数 382人 2. 女性部活動事業（手作り事業他）参加者数 171人	小規模事業者	指標 事業参加者数 (達成度 94.4 %)	指標 (達成度 %)	本年度も一部事業が新型コロナウイルス感染症対策による万全な体制が確保できないため、中止となった事業があったものの、概ね事業を計画することができた。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価 B	調査結果 B	満足度 B	補足 必要性	目標① 現行どおり	目標②	引き続き青年部女性部活動を通じ地域の発展に寄与してゆきたい。		
福利厚生事業	小規模事業者等の経営・雇用の持続的な安定を図るため各種共済制度の普及、健康診断事業の実施等により、事業所の健全な育成を目的とする。	1. 共済普及推進（中小企業共済、中退金等）加入件数 242件 2. 福利厚生事業（健康診断）参加者数 6人	小規模事業者	指標 各種共済加入件数 (達成度 98.8 %)	指標 (達成度 %)	従業員に関する共済は雇用安定のため、持続的に契約更新されている。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価 B	調査結果 B	満足度 B	補足 必要性	目標① 現行どおり	目標②	引き続き福利厚生事業を進めてゆきたい。		
部会・委員会事業	商業部会、工業部会が事業を行うことにより、参加企業の発展に寄与することを目的とする。	1. 商業部会（まつり大売出し・出店事業、先進地視察研修他）参加企業数 30件 2. 工業部会（先進地視察視察研修他）参加企業数 15件	小規模事業者	指標 参加企業数 (達成度 60.0 %)	指標 (達成度 %)	いずれの事業も3年ぶりの開催であり、視察研修の参加者はコロナ禍もあり、当初予定より少なかったものの、大売出し事業に関しては例年通りの参加企業が得られた。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価 B	調査結果 B	満足度 B	補足 必要性	目標① 現行どおり	目標②	本年度は、左記の通りの結果となったが、引き続き現行どおり事業を進めてゆきたい。		

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 小坂井商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価													備考								
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価				今後の展開・改善点等										
				指標	参加企業数 (達成度 64.5 %)		指標	(達成度 %)			総合評価	B	事業評価	自己評価	調査結果	満足度		補足	目標①	目標②					
経営強化事業 (エースクラブ事業)	商工会活動への協力、地域商工業の発展に寄与することを目的とする。	1. エースクラブ (会議・事業) 参加企業数 129件	小規模事業者	指標	200	実績 数値	129	指標		実績 数値										前期の事業が新型コロナウイルスの影響等により中止の事業があり、参加事業所数が減少した。	総合評価	B	事業評価	B	自己評価
若手後継者等育成事業 (若手後継者勉強会)	経営者となる若手後継者だけでなく、地域の小規模事業者は、今後さらに変化が加速する経営環境に迅速に対応する必要がある。そのため、本事業を活用し経営の基礎となる部分を再確認できる勉強会を実施することで、事業主の資質向上・人材育成が向上し企業の継続的な経営を目指す。	1. 実践型勉強会 実施回数 2回 参加者数 15人 挑戦することの大切さを伝えるセミナー 実施回数 1回 参加者数 5人 実務家による伝統芸能・話す楽しさを地域の子供たちと一緒に学ぶセミナー 実施回数 1回 参加者数 10人 2. 事業承継セミナー実践型勉強会 実施回数 5回 参加者数 75人	小規模事業者	指標	125	実績 数値	90	指標	80	実績 数値	99		(1) 実践型勉強会 ①挑戦することの大切さを伝えるセミナー ベストセラー作家をお招きし、将来や今後役に立つセミナーであった。 ②伝統芸能・話す楽しさを地域の子供たちと一緒に学ぶセミナー 地元出身の落語家ということで伝統芸能を身近に感じることができた。 (2) 事業承継セミナー ①資産の守り方・育て方セミナー 講師の実体験を元に基本的な部分から細かな部分まで学ぶことができた。	総合評価	B	事業評価	B	自己評価	調査結果	B	満足度	補足	目標①	目標②	次年度は地域振興イベントを計画。目標②の満足度はイベント参加事業所の満足度とする。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。